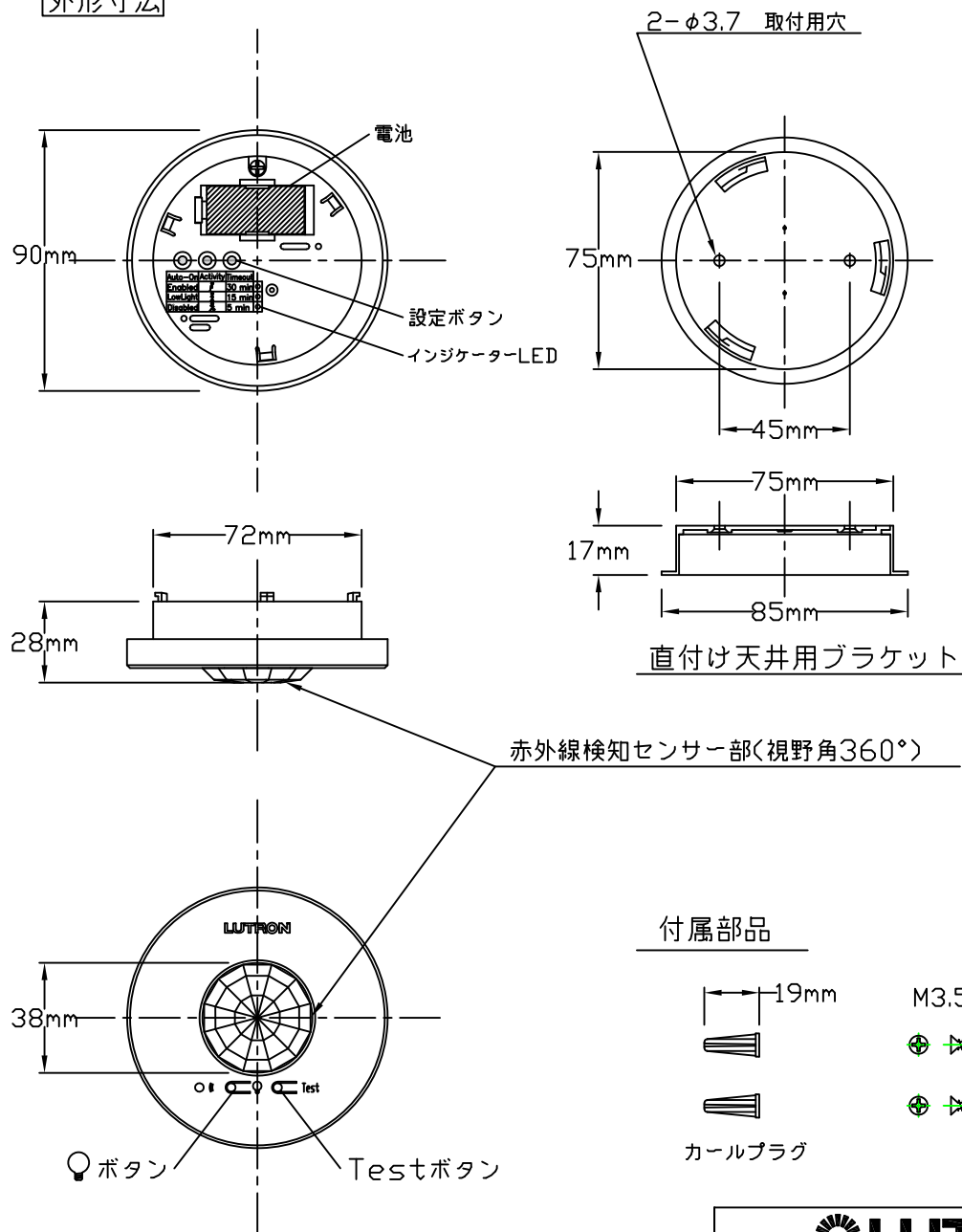


外形寸法



機能概要

LRF6-OCR2B-P-WHは赤外線を使用しバッテリーで作動するワイヤレスの人感センサーです。この人感センサーでルートロン製のワイヤレス調光器・スイッチをコントロールすることができます。赤外線で感知し自動点灯や自動消灯など照明の制御を3つの設定から選ぶことが出来ます。直付け天井用ブラケットが同梱されております。天井埋め込み用のブラケット(L-CRMK-WH)は別売になります。

定格・仕様

種類	人感センサー		
定格電源	DC3V		
動作電流	14μA		
使用周囲温度範囲	0℃～40℃（一般室内取付専用）		
使用周囲湿度範囲	相対湿度 90%以下（無結露）		
使用設置場所	屋内のみ		
バッテリー	CR123リチウム電池 1個		
記憶装置	不揮発性メモリー搭載 /バッテリー交換時に設定をバックアップ		
周波数帯	315MHz 007YUUL0689		
不在時の時間調節	1分、5分、15分(初期設定)、30分		
設定オプション	Enable 自動ON/自動OFF(初期設定) Low Light 10ルクス以下の時ON/自動OFF Disabled 手動ON/自動OFF		
材質	プラスチック		
製品重量	約80g（電池含）		
赤外線センサー部	視野角360°		
センサーと調光器の設置距離	見通しがきく場合12m以内、壁で遮られる場合7m以内		
最大無線接続機器数	パウバック、またはマエストロワイヤレス 1台に対して		6台
	QSセンサーモジュール + グラフィックアイQS	QSセンサーモジュール 1台 に対する接続台数	10台
		グラフィックアイQS 1台の 登録台数（シーンモード使用時）	16台
		グラフィックアイQS 1台の 登録台数（ゾーンモード使用時）	4台
適合製品/システム	パウバック、マエストロワイヤレスシリーズ グラフィックアイQS※、Quantum※、myRoom※ ※QSセンサーモジュール（ワイヤレス受信部）が必要になります。		



LRF6-OCR2B-P-WH

REVISION	2.0
RELEASED	2023/09/25
PAGE	1/3

承認	谷崎	検図	石黒	作成	足立
----	----	----	----	----	----

Radio Power Savr
ワイヤレス人感センサー 仕様書

⚠ RF(電波)式機器取り付けの注意事項

取り付ける場所によってはRF(電波)到達距離が短くなったり、正しく動作しない場合があります。下記のような場所に取り付ける場合はご注意ください。なお、動作が望ましくない場合はパウバック・マエストロワイヤレス・ピコリモコンの設置場所の移動を行い、正しく動作する位置に設置してください。

RF(電波)到達距離が短くなったり動作しない場合があります。

- ・ピコリモコン、ワイヤレス人感センサー、ワイヤレス光センサーを金属製の壁や天井に取り付ける場合
- ・ピコワイヤレスリモコンをメタルプレートに納めた場合(ステンレススチール仕上げを除く)
- ・テレビの送信所、無線局の付近などの強電界地域
- ・発信部と受信部の間に金属や鉄筋コンクリート製の電波を通しにくい壁や扉がある場所
- ・受信部が金属で覆われる場所(鉄製ボックスの中など)

人感センサーが誤動作したり検知しない場合があります。

- ・自動開閉便座など自動で動くものがある場合
- ・空調の吹き出し口、窓、ファンなど空気の流れが大きい場合
- ・気温が高い夏など室内が高温になり人との温度差が小さい場合
- ・人がセンサーに直線的に近づいた場合
- ・人が静止している場合

検知範囲のテスト

1. センサーを天井に取り付け、Testボタンを1回押します。レンズが短時間点灯し、テストモードになったことを示します。
2. 検知できる範囲をチェックするため、室内を歩きながらレンズを確認します。レンズは、動作が検知されると点灯します。動作をしてもレンズが点灯しない場合は、センサーがその位置での動作を検知していません。
3. Testボタンをもう一度押し、テストモードを終了します。ボタンが押されなかった場合でも、テストモード開始から15分経過するか、最後に動作を検知してから5分後にテストモードは自動的に終了します。
4. テスト中に、センサーの動作検知に大きな問題があった場合は、他の場所にセンサーを移動して再度テストして下さい。
5. テストの結果、センサーの検知状態が良好だった場合、ワイヤレス通信のテストも実施して下さい。

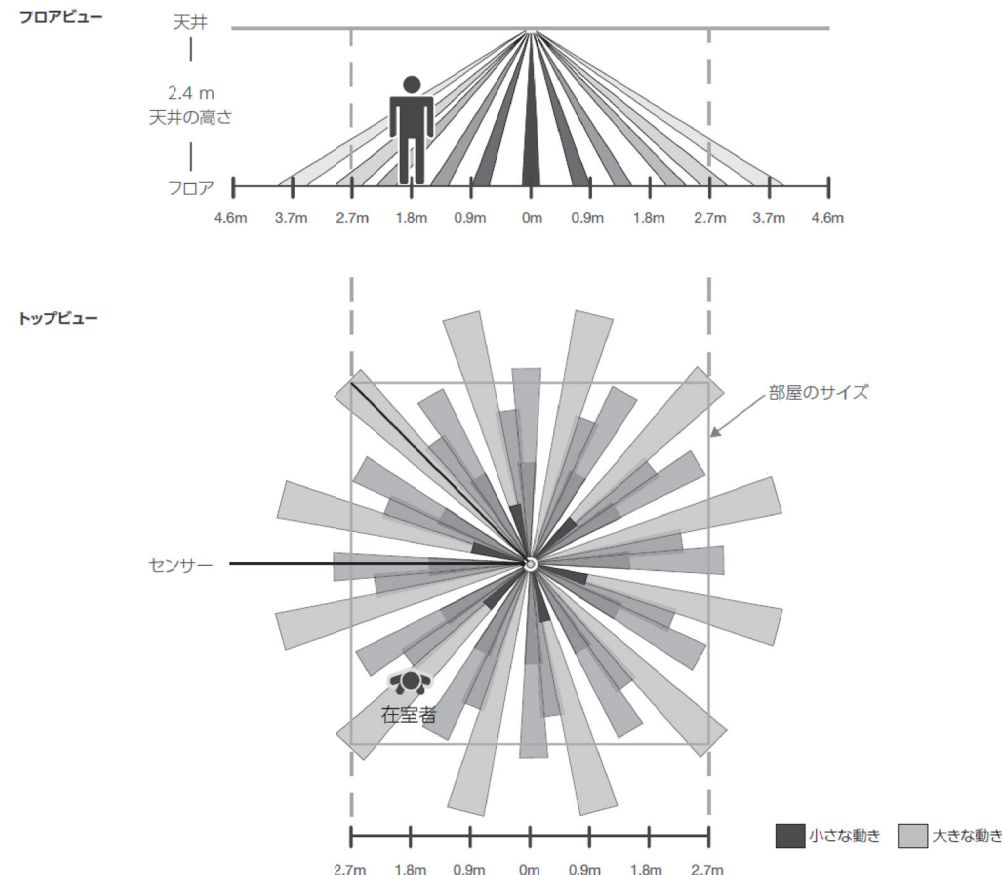
ワイヤレス通信のテスト

このテストはセンサーが対応する調光器またはスイッチ機器に正しく接続されていること、および設置したセンサーの位置から適切なワイヤレス通信が行われているかを確認するためにあります。

- 🔦 ボタンを数回押して、照明のオン・オフを繰り返します。

センサーの到達範囲を示すグラフ

天井取付型、視野角360° ー到達範囲は、天井の高さによって異なります。



天井取付型センサーの到達範囲を示すグラフ

部屋の中央に取り付けられたセンサーの場合

天井の高さ	フロア全体の到達範囲に対する部屋の最大サイズ	フロアでの最大検知範囲の半径
2.4m	5.5m×5.5m	4.0m
2.7m	6.1m×6.1m	4.4m
3.0m	6.7m×6.7m	4.9m
3.7m	7.9m×7.9m	5.8m

※推奨最大取り付け高さは3.7mです。



L R F 6 - O C R 2 B - P - W H

REVISION	2.0
RELEASED	2023/09/25
PAGE	2/3

承認	谷崎	検図	石黒	作成	足立
----	----	----	----	----	----

Radio Power Savr
ワイヤレス人感センサー 取付説明

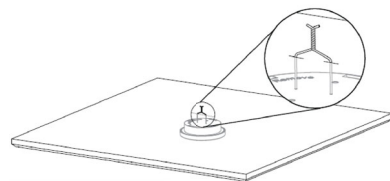
設置の際の注意事項

- ・センサーは天井取付専用です。（3.7m以上の高さがある天井には、設置しないで下さい。）
- ・センサーは遮るものがなく、部屋全体を見渡せる場所に設置して下さい。
センサーと検知対象（人）の間に障害物があると、正しく作動しないことがあります。
センサーが人から見えない位置にある場合、センサーは動作を検知できません。
また、センサーはサンルームや浴室のガラス戸など、ガラス板を透過しません。
- ・暖房、空気の吹き出し口や換気口、電子レンジから1.8m以内、その他赤外線機器の15cm以内、天井より低い位置に取り付けられている電球の1.2m以内には、センサーを設置しないで下さい。
- ・センサーと接続する調光器またはスイッチ機器との間の距離は、設置壁から7m以内として下さい。
- ・部屋の外など検知対象外のエリアも検知してしまう場所には、なるべくセンサーを設置しないようにして下さい。そのような場所に設置せざるを得ない場合は、検知対象外のエリアを検知しないようにレンズの一部を覆うことができます。レンズの一部にマスキング（別売L-CMDPIRKIT）を貼り、センサーから検知したくないエリアを遮蔽して下さい。

取り付け方法

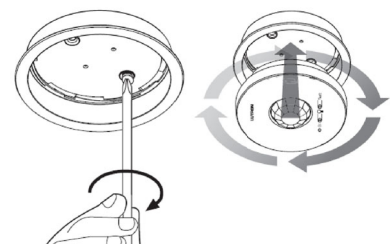
1.吊り天井への取り付け

センサーを天井タイルの適切な場所に置いたら、そのタイルを下に降ろすか周囲のタイルを取り外します。タイル裏側の取付ワイヤを一つにまとめ、固くねじってとめます。



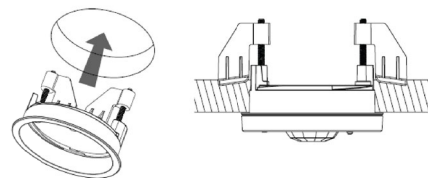
2.直付け天井用ブラケットの取り付け

- ・付属のカールプラグ用に5mmの下穴を2つ開けます。
- ・カールプラグを穴に押し込み、天井と段差が出来ないようにハンマーで叩きます。
- ・取付具の平らな面が天井側になるようにして、ネジ回しを使い付属のネジ2本を取り付けます。
- ・センサーを取付具に挿入し、センサーが完全に収まるまで時計回りに回して取り付けます。



3.天井埋め込み取り付け

- ・天井面が金属の場合、埋め込みタイプの天井取り付けはしないで下さい。
- ・取付具を天井タイルの中に取り付けます。センサーを回しながらしっかりと取り付け、天井面と段差ができないようにします。
- ・天井開口部の直径は76mmです。
- ・天井埋め込み用のブラケットは別売です。



（型番：L-CRMK-WH）

詳細セットアップ（オプション）

- ・自動オン、検知レベル、タイムアウト時間を個別に設定できます。
- ・ほとんどの場合、初期設定で最適な状態であるため詳細セットアップは不要です。

Auto-On	Activity	Timeout	
Enabled	人	30 min	○
Low Light	人	15 min	○
Disabled	人	5 min	○

設定ボタン

インジケータ LED

【初期設定】

Timeout: 15min
Auto-On: Enabled
Activity: 人（小さい動作）

【設定方法】

- 1, 設定したい項目の設定ボタンをインジケータ LED がすばやく点滅するまで長押し（約3秒）。
- 2, インジケータ LED が希望の場所にくるまで設定ボタンを押す。
- 3, インジケータ LED が点灯に変わるまで設定ボタンを長押し（約3秒）し、設定を保存する。

詳細セットアップモード

Timeout（タイムアウト時間）

特定の時間（タイムアウト時間）内に動作が検知されない場合、センサーが照明をオフにします。
設定可能なタイムアウト時間：1分※、5分、15分、30分

※1分の設定方法

- 1, 3つ全てのインジケータ LED がすばやく点滅するまで Timeout の設定ボタンを約10秒長押し。
- 2, 3つ全てのインジケータ LED が点灯に変わり、タイムアウト時間1分の設定が保存されたことを示すまで Timeout の設定ボタンを約10秒長押し。

Auto-On（自動オン）

自動オン機能を設定することにより、入室時の照明の反応をコントロールできます。

Enabled（オン）：入室時に毎回照明がオンになります。

Low Light（低外光時）：室内に十分な外光が入らない場合に、入室時に照明が自動的にオンになります。

Disabled（オフ）：退出モード。照明は自動でオンになりませんが、退出すると自動でオフになります。照明をオンにする場合は、接続している調光器またはスイッチ機器で手動でオンにする必要があります。

Activity（検知レベル）

室内で予測される動作に応じて、センサーの感度を調整できます。

人 Low Activity（小さい動作）※※：最も感度が高く、非常に小さな動きも検知します。
在室中、比較的長時間座り続けることが多い空間に最適な設定です。

人 Medium Activity（中程度の動作）※※：「小さな動作」に比べて多少感度の低い設定。
通常の動作を行うような空間に適しています。

人 High Activity（大きな動作）※※：最も感度の低い設定。
歩くなどの大きな動作が予想される空間にのみ適しています。

※※ 初期設定は「小さな動作」設定になっており、ほとんどの場合この設定にすると最適に作動します。
まれに暖房の吹き出し口、電球など外部からのノイズ源の近くにセンサーを設置すると、入室しなくても照明がオンになり、退出した後も照明が長時間点灯し続けることがあります。このような場合は、感度を「中程度の動作」または「大きな動作」まで下げ、この状態が起きないようにして下さい。

			LRF6-OCR2B-P-WH		REVISION	2.0
ルートロン アスカ株式会社					RELEASED	2023/09/25
					PAGE	3/3
承認	谷崎	検図	石黒	作成	Radio Power Savr ワイヤレス人感センサー 取付説明	